

有限会社M・T・S



【対象類型】 ものづくり技術

【事業類型】 一般型

事業
計画名

大型マシニングセンター導入による
精密加工技術の確立と新市場開拓

大型の設計から加工まで一貫受注

国内での生き残りをかけ、大型化の対応、新規市場の開拓



導入した大型マシニングセンター。

事業の背景・目的

当社は金型、精密部品を製作している。自動機等の場合は外注で加工したものを社内で組立ていたが、近年、半導体製造が海外に移行しており、リーマンショックや東日本大震災後からその傾向は顕著に現れ、当社のような中小企業では受注が減少してきている。

生き残り手段のひとつとして海外進出した場合、経費や競争力等を考慮しても、同等の部品と価格競争に巻き込

まれるだけで、生き残りは厳しいと考えた。

そこで、大型加工製品であれば海外からの輸送コストを考えても、まだ国内で競争していけるとの結論に至った。当社は、社内設計を行っているため、設計から一貫した体制で製作受注していけると考え、大型マシニングセンターの新規導入に至った。

事業内容

大型マシニングセンターの新規導入に伴い、工場を新設した。

マシニングセンターを社内ネットワークに接続することにより、CAD/CAMで作成した加工データをダイレクトに送受信できる、IoTシステムを構築した。これにより、段取

り時間の短縮と工数削減が可能になった。

最新鋭マシニングセンターの機能を活用することにより、加工面品位の向上が実現した。

事業の成果

段取り作業が簡素化されたことで、その時間を加工作業にあてられるようになった。

また、大型マシニングセンターによって、加工範囲が拡大したことにより、これまで外注依頼していた大型加工製品を、自社で加工することが可能になった。

加工の内製化により、製品精度の向上・コスト削減および納期短縮ができた。

今後の展望

当社は設計段階から受注が可能のため、その強みを活かし、大型製品の設計段階からの受注をめざしていく。

今回、大型マシニングセンターを導入したことにより、既存顧客からの受注の幅が広がっていると実感しており、さらなる製品の提案をしていきたい。

また、新たに加工に関する問い合わせ案件があった。大型マシニングセンターの保有と、当社の設計や技術力が認知されてる証拠であり、新市場の開拓を行っていけると実感している。今後は、広報活動の必要性も考えている。



手作業による精密部品の組立。



耐圧・部分放電試験/リード切断・成形装置。

有限会社M・T・S

事業内容

- 自動機販売
- 自動装置設計／金型設計
- 装置組立／金型組立
- ソフト設計／電気設計
- 機械加工／部品加工
- 治工具設計／販売



代表取締役 渡邊 正信

代表者：渡邊 正信

設立年：平成16年11月

資本金：300万円

従業員：8名

住所：山形県南陽市川樋1987-2

電話：0238-49-2850

FAX：0238-49-2858

e-mail：mts-w@taupe.plala.or.jp